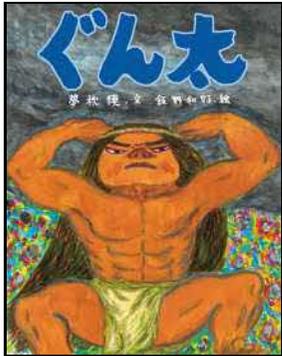


とっておき!



『ぐん太』
文/夢枕 獏
絵/飯野和好
小学館



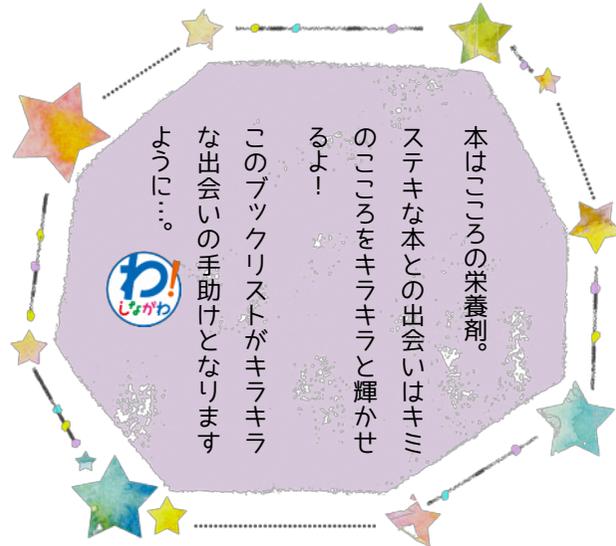
E/1

だれひとりとして持ち上げることができない「夜なき石」。あの石の下には怖いものが住んでいるという。むかしからかじまんたちが石を持ち上げようとしたけれど、だれも持ち上げることができなかった。死んだお父さんも、そのまたお父さんも…。

そんな石を持ち上げようと、ぐん太は立ち上がった。毎日毎日、あたりの石を持ち上げて、ぐん太は村でいちばんの力持ちになった。カクラベの旅にも出た。でも、あの石だけは持ち上げることができなかった。

ある夜、死んだお父さんが夢で語った。あの石は力だけでは持ち上がらないと。ではいったい何が必要なのか、ぐん太ははたしてあの石を持ち上げることはできるのか…。

喜び、悲しみ、くやしさを知ったとき、人は世界一強くなれる！ 著者が東日本大震災に影響を受けて温めてきた物語。



図書館おすすめブックリスト



キラ
キミのこころに☆めきを…

乳幼児



『おとうが
おおきくになったら』

文/フイー・ラポー
絵/ジュディ・ワソ
訳/当麻ゆか
徳間書店

E/ラ

5歳児

ぼくの弟のテオは、まだ赤ちゃん。毎日ミルクを飲んでねむってる。ぼくはいっしょに遊びたいけれど、テオがもっと大きくなれないといっしょに遊べない。

そこでぼくはテオが大きくなったら何をしようか考えた。ふたりで自転車にのって、ジャングルへ行こう！ 木の下のはらあなはぼくたちのひみつきち。夏になったら海辺に行こう！ 木の枝や貝がらでおしろを作るんだ。それから…！

弟が大きくなったらどんなふうに遊ぼうか、お兄ちゃんの想像が膨らみます。

2023年春号

編集・発行：五反田図書館

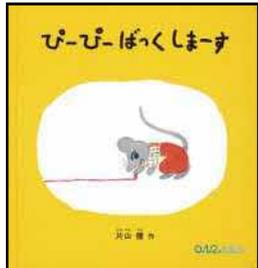
0さい～

『ぴーぴー ばっくしまーす』

作/片山 健
福音館書店

0さい～

SE/カ



ねずみくんがバックしながら線を引いています。すると「どん！」とうさぎさんにぶつかります。2匹は「あはは」と笑って、またバックします。次はくまさんにぶつかって、それからごりらくんにぶつかって、最後はみんなで「あはは」とわらいます。テンポよく読んであげられる絵本です。

3さい～

『ちいさいひなた』

作/山田美津子
佼成出版社

E/ヤ



ゆかにある小さなひなたを見つけました。ねこがそこを通ると、ひなたが背中に乗っかって通りすぎていきました。そんなひなたがだんだん小さくなっていったので、小さな手でつかまえて…。

日常の中のちょっとしたふしぎを発見したくなる一冊です。

5さい～

『すきなものがちがうけど』

文/リリガ・アヌマ 絵/イグ・コイ
訳/福本友美子 ぼるぷ出版

E/ア



「すっぱいのがすき」、「あまいのがすき」。「あつひだいすき」、「さむいひだいすき」。「クモ、かわいいよ」、「いやだー!」

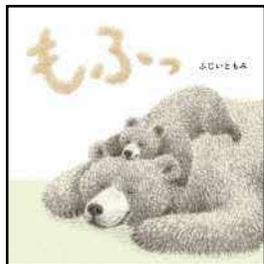
それぞれのすきなものを教え合っていて気づいたことって? どんなにちがっていても友だちになれるということに気づかせてくれる一冊です。

『もふっ』

作/ふじいともみ
アリス館

1さい～

SE/フ



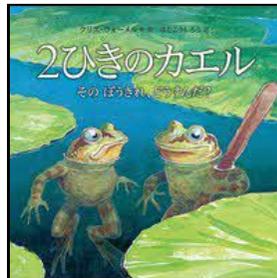
ねこさん親子がひなたぼっこをしてもふっ。うさぎさん親子がおいかけっこをしてもふっ。ラッコさんおやこはおよぎの練習のあとでもふっ。いぬさん親子は体を乾かしてもふっ。

絵本を読みながら赤ちゃんといっしょにもふっとしたくなりますよ。

『2ひきのカエル そのぼうぎれ、どうすんだ?』

作・絵/グリス・ウォズル 訳/はたこうしろう
徳間書店

E/カ



スイレンの葉の上にいる2ひきのカエル。ぼうぎれを持っている1ひきに、もう1ひきが質問します。そのぼうぎれ、どうするんだと。ぼうぎれを持っているカエルの説明も、それを返すカエルの言葉もおもしろくて夢中になっていくこと間違いなし。迫力のある絵に子どもぐっと引き込まれそう。

『あずきがゆばあさんとら』

文/パク・ヨンギョ 絵/パク・ヒ
訳/かみやにじ 偕成社

OE/ハ



昔、深い山奥にあずきがゆばあさんが住んでいました。ある日、大きなとらがやってきて、ばあさんを食べようとします。ばあさんは「おいしいあずきがゆをたらふく食べてからわたしをがぶっと食べればいい」と言い、それをきいたとらは山へ消えていきました…。ばあさんが食べられないためにやった作戦とは? 韓国の学校の教科書にも載っている昔話です。

『げんこつやまのたぬぎさん』

作/とよたかずひこ
世界文化社

2さい～

SE/ト



げんこつやまの頂上に、いろいろな動物が登っていきます。うさぎ、ぶた、クマ、パンダ、キリン、ゾウ…。ぎんぎよもなまずもやってきましたが、とちゅうで断念。タヌキの家族もやってきて、タヌキの赤ちゃんはスヤスヤねんね…。巻末にあらべうた「げんこつやまのたぬぎさん」の手遊び解説もついています。

『やさしいライオン』

作・絵/ やなせたかし
フレーベル館

E/ヤ



みなしごライオンのブルブルとお母さんがありの犬のムクムク。ブルブルはムクムクに育てられて大きく成長していきました。ところが2ひきははなればなれに…。ブルブルはいつしかサーカスの人気者になっていきましたが、ムクムクのがあすれられず…。半世紀近く読み継がれた絵本の復刻版です。

『かえりみち』

作・絵/アリガ・テウケトラップ
訳/木坂 涼 ひさかたチャイルド

E/テ



小さなハリネズミは、家に帰る途中、いろんなものに興味を持ちます。「ちょっと待って」というたびに、大きなハリネズミは、そばでいっしょにながめます。沈む夕日、昇る月、花、フクロウ、ホタルの群れ、数えきれないほどの星…。かえりみちを楽しみながら家にたどり着いたふたりは…。